

「継続採用に努力！」

2009年度農林水産政策課長交渉を実施！

林務評議会は、10月29日（木）15：00から県職労大会議室において、栗林会長以下会員30名が参加し、10月14日に手交した職場要求書に対する回答交渉を実施しました。主な内容は次のとおりです。

参加された幹事・職場代表の皆さんお疲れ様でした。

林 務 評 要 求 等	当 局 回 答
<p>1 人員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務量及び業務内容に対応した人員確保及び適正かつ弾力的な人員配置について基本的な考えを伺いたい。 ・林務関係職員の現在の人数は何名か。 ・林務関係職員の削減実績はどうか。 ・今後の削減計画についてはどうか。削減は加速していると考えてよいか。 ・岩国農林及び萩農林事務所の森林づくり推進課、林業指導センター緑化指導課は欠員と考えているが、当局の考えは。 ・業務量は減っていないのに、一方的に人員を減らすのか。昨年度、人員削減する場合に、その理由を説明するとしたはずだ。 ・現職死亡のあった山口農林事務所森林保全課事業班の欠員については、どのように対応するのか。 ・今年度、退職者等の5名減に対して採用予定はどうか。 ・長期的な採用計画はどのように考えているのか。 ・業務の見直しの説明があって、人員削減があるべきではないのか。業務見直しがないまま人員削減のみが進められ、結果として県民サービスが薄くなった場合の責任は当局にある。 ・7月の豪雨災害対策として、山口農林事務所の応援として各事務所から派遣されている職員は、駐在又は異動ではないか。 ・派遣元の事務所は業務量が減るわけではなく、残った職員で業務を分担しているため、厳しい状況であることを把握しているか。 ・山口農林事務所の来年度以降の対応の検討状況は。 ・派遣した事務所側への対応は、どのように考えているのか。 ・その他、今後の林業職業務が増加する場合に必要な人員の確保、女性職員の産休、育休等の代替職員の確実な確保及び産前休からの対応、非常勤嘱託職員のいる職場への正職員の配置。 ・林業職員は大変真面目で、人員が足りなくても一人が一人以上の業務をこなしている。そのところに甘えてほしくない。 <p>2 組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24年度に全国植樹祭が山口県で開催されることが8月に決定し、その準備として、組織を一つ立ち上げることとなると思われ 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務量や事務所間のバランスを考慮して人員を配置している。年々、行政状況は厳しくなっており、10ヵ年で10%の削減目標がある。理解を頂いた上で、適正な人員配置を行っていききたい。 ・農林水産部内で180名（林野庁派遣含む）。全体では188名。 ・H11年4月からH21年4月までで14名の減となっている。 ・新プランに沿って、職種により画一的ではなく、全体の中で削減目標が進められていく。削減は加速化している。 ・各職場に対して、10月末を目処に業務量に対する人員配置について、調査を行っている。 ・推進課業務は、事業班に比べ業務量の把握が難しいため、画一的に削減とした。対応が十分でなかった部分は把握している。今後、情報収集して対応したい。 ・新規採用の前倒しをしたいと考えている。（1名） ・昨年度は、大卒採用は0名であったが、今年度は3名確保した。 ・定員計画により、全体の中で削減していく。どうしていくか関係課と議論していく。 ・それぞれ管理課があり、管理職がマネジメントするべきと考えられるので、説明できるよう整理する。 ・駐在ではなく派遣である。 ・派遣元の事務所と調整し、事務負担が大丈夫か確認して行っている。それぞれの職場の状況を聞いて適宜対応していく。 ・山口農林事務所に出向き、事務所の現状確認や意見を聞いた。 ・今回は特別な事態と把握している。現場の実態により適宜対応していく。 ・林務職をどうするのかは、現在検討中で、申し上げる段階ではない。国体と同様に現職員の中で対応としている。他職種からの

<p>るが、人員配置はどのように考えているのか。4月から動くのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの組織見直しはどのように考えているか。 ・その他、環境班業務の主査・主任体制の継続、田布施・長門農林事務所の企画振興室長が森林部業務を行うことの明文化と予算措置。 <p>3 業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林事務所や試験研究機関の組織再編等に伴う業務の点検をし、必要に応じて実施方法や事務分掌等の見直しを図ってもらいたい。 ・自然保護課業務の現状を把握し、農林水産部と環境生活部（自然保護課）が連携して問題点の把握、解決を図ること。 ・鳥獣情報システム（WIS）は機能していない状況であるが、今後の取り扱いの方針を示してもらいたい。 <p>4 処遇の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの研究職の階級は、他の業種は4級なのに林業だけは3級である。どのように考えているのか。 ・その他 他部及び職種間の処遇上の不均衡を生じさせないこと、公社への職員派遣の事前承諾徹底、人事異動3原則の遵守。 <p>5 時間外勤務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外の縮減を図り、不要・不急な勤務はさせないこと。 ・時間外勤務をやむを得ず行わせる場合は、手当を完全に支給すること。 <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口農林の狭隘問題について改善を図ること。 ・業務に支障の出ているPCについては、早急に対応すること。 ・公用車の広告掲載については、業務委託先の広告が貼られている場合があり、対外的に問題と思われる。 	<p>派遣も含めて見直しをしていかなければいけない。4月から動く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しは今のところ考えていない。 ・現在、各職場に聞いているところである。今後とも、現場の状況をよく把握して対応していきたい。 ・今後とも連携を図りながら調整していく。鳥獣保護業務、捕獲奨励業務などにより業務量が大きくなっていると理解している。 ・実質動いていない。現時点動かすのは難しい。国の方で変えて頂くよう調整していく。 ・他県に比べて高いことは認識しており、本年度より下げたことは確認している。個別のことは理解しておらず、調べてみる。 ・全体の時間外が多いことは把握している。 ・予算は現在、当初のまま。補正は9月に取りまとめて要望を上げている。 ・4月以降、県税・土木の移転の可能性があり、その場合は改善を図れるよう対応していく。最終的には2月に決定の予定。 ・了解 ・全体の公用車の中で、広告指定車、課への分配を含め、物品管理課が管理・契約しているため、要望を伝えていく。
---	--

2009 年度林務評議会研修会を開催！

林務評議会は、11月7日（土）、山口市上宇野令の兄弟山森林公園周辺において2009年度研修会を開催し、各職場から24名の会員が参加しました。

研修会では、まず組合活動に係る講話を主体とする勉強会が行われました。栗林会長あいさつの後、講師としてお招きした県職労の山ノ口書記長より、「昨今の組合を取りまく課題について」をテーマに10月30日の副知事回答交渉状況などの説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後、林業職員としての技術研鑽を図るために、林業職員の中でも特に樹木に詳しい2名（岩国農林：内田主査、森林企画課：渡邊主任）を講師として、樹木研修会が行われました。

研修では、講師ごとに2つのグループに分かれ、おとどい山リフレッシュロードを散策しながら、生育している樹木の名前や特徴、識別のポイントなどを学びました。時期的に常緑樹が主体でしたが、葉を落とした落葉樹の識別方法なども伝授してもらい、講師からは分かりやすく役立つ話をいろいろ聞くことができました。

研修会日程

【学習会】10:00～10:30
あいさつ（栗林会長）
講話「昨今の組合を取りまく課題について」
講師：山ノ口達也 書記長

【樹木研修会】10:30～13:30
樹木研修
講師：内田主査（岩国農林事務所）
渡邊主任（森林企画課）



山ノ口書記長講話



樹木研修の様子



展望台で休憩

